

# 赤れんが通信



北海道庁の金昭賢(キム・ソヒョン)国際交流員が、韓国の友好地域との交流事業及び北海道の情報などについて書いたレポートをご紹介します。

秋がこんなに待ち遠しいのは初めてです。今年の夏は北海道らしくない暑さでした。体感温度が40℃以上になる日もありました。しかし、観測史上初の記録的な猛暑の中でもオリンピックは予定通りに行われました。私が今年の夏に気づいたことがあります、それは札幌ではセミの鳴き声があまり聞こえないことです。韓国では夜中にもセミがうるさく鳴くことがあります、札幌では山に行ってもセミが見られないのが不思議でした。

## 友好提携5周年記念 青年声楽家交流



千葉詠美(北海道) チョン・ホジン(済州)

北海道と済州特別自治道は、今年、友好提携5周年を迎えます。しかし、新型コロナウイルス感染症で自由な往来ができなくなったため、去年から会議を始め、国際交流活動はオンラインで実施されるようになりました。

今回行われた両地域の青年声楽家交流も同じです。済州特別自治道出身の声楽家「チョン・ホジン」(バリトン)氏と北海道教育大学岩見沢校で声楽を学ぶ「千葉詠美」(ソプラノ)氏が、10月10日、済州で開催された「耽羅文化祭」で日本と韓国、両国でよく知られている曲「雪の華」をデュエットで披露しました。公演は、北海道で事前に収録された公演映像にライブ公演を加える形で行われました。

## 済州国際青少年フォーラム研修

今年度の済州国際青少年フォーラムに参加する5人の生徒たちが選定され、参加に向けた事前研修が行われています。フォーラムは去年同様、11月12日からオンラインで行われる予定で、参加者たちは3日間、他の地域の参加者たちと全世界の共同課題である「平和、環境、教育、健康」などをテーマとしたディスカッションを行います。英語でなされるオンラインディスカッションを通じて、参加者たちが何を体験して感じるようになるかが楽しみです。



## 東京オリンピック2020開催



新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、東京オリンピック2020が無事幕を下ろしました。札幌市内でも、8月5日から8日まで、競歩とマラソン競技が開催されました。北海道は、夏にも気候が涼しくて陸上競技の開催地となりましたが、予想が大きく外れ、オリンピック期間中、北海道は記録的な暑さに見舞われました。選手たちのコンディションを考慮し、スタート時間を繰り上げて試合が行われました。

## 札幌散策 -ラベンダー探し-

1年前のこの頃には、2021年の夏には北海道を自由に旅行できるようになると期待していました。しかし、コロナの影響で長距離旅行にまだまだ制約があるので、気分転換のため、札幌市内でラベンダーが見られるところに行ってきました。

私が訪問した場所は「幌美峠」のラベンダー園と「羊ヶ丘展望台」のラベンダー畑です。

北海道の代表観光地と言える富良野ファーム富田のラベンダー畑ほど規模が大きくはありませんが、いずれも札幌駅から市内バスで行けるほど都心に近い場所に位置していて良かったです。



▲幌見峠のラベンダー園



▲羊ヶ丘展望台の風景

「羊ヶ丘展望台」は、名前とおりに丘の上でのんびりしている羊たちがいる場所ですが、私はここから見上げる青い空が好きで、時々ここに来ます。

7月には期間限定でラベンダー刈り取り体験ができるコーナーが設けられていて、参加してみました。ラベンダー畑には蜂がたくさんいて怖かったです。

私は今まで夏に道路に咲いている紫色の花が全部ラベンダーだと思っていましたが、刈り取り体験を通じてラベンダーの花を見分けることができるようになりました。

「幌見峠」は今年の夏、新しく発見したお気に入りの場所です。目的地まで向かう途中に北海道神宮、円山動物園、札幌オリンピックミュージアム、大倉山ジャンプ競技場などの有名な観光地を通り過ぎます。バスを降りて15分ほど山を登ると、目の前にラベンダー畑が広がります。



▲幌見峠から見える札幌市内の様子

幌見峠は夏の気分が味わえるラベンダー畑とともに札幌市内の風景も眺められる魅力的な場所でした。ここから見る夜景もとても美しいと言われるので、また機会が会ったら来てみたいと思いました。

## 日本のポンナル、日本の秋

韓国には毎年3回のポンナル(土用の丑の日に当たる日)がありますが、日本ではその日にちも、回数も毎年変わるそうです。今年は、たった1回でした。日本でも夏に迎える土用の丑の日は、気力を付ける重要な日として、6月中旬からはコンビニやスーパーなどで、鰻弁当の事前予約カタログなどが展示されています。そして、当日が近づくとスーパーの売り場が鰻だらけになる面白い風景も見られます。

スタミナ食として参鶏湯やチキンなど、鶏肉料理を主に食べる韓国と違って、日本では鰻料理がメインになります。しかし、鰻は値段が安くはないので、鰻の蒲焼の形そのままのかまぼこや鯖の蒲焼も販売されます。そして、土用餅というお餅も食べます。

一方、お盆(韓国では「秋夕」という)の期間は一般的に陽暦8月13日から16日までで、北海道ではこの時期から気温が徐々に下がります。日本でもお盆には帰省をしたり、墓参りに行ったりして、過ごし方は韓国とあまり変わらないですが、日本ではお盆期間が休日として指定されていないことが韓国との大きな違いです。北海道ではヒグマが食べ物を探して町まで下りてくるのが頻繁にあるので、テレビ番組では墓参りが終わったら、食べ物を持ち帰るように呼びかけることもあります。

旧暦の8月15日は、日本で「中秋の名月」、「十五夜」と呼ばれます。韓国のようにこの日は休日ではありませんが、月見をする風習は韓国と同じです。この日に関して9月に展開される「月見」マーケティングが大変面白いです。満月のような丸い団子、黄色い和菓子、黄身をのせた月見そばなど、「満月」のシンボルを入れた食べ物を売り始め、ファストフードチェーンでも揃って目玉焼きを入れたハンバーガーを販売するからです。



✓ 赤れんが通信  
バックナンバーは  
こちら



✓ 北海道庁  
国際課  
FACEBOOK



✓ 編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課

北海道札幌市中央区北3条西6丁目

TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303